

ISO9001:2015 認証機関



日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙
第135号

2026年5月発行

発行責任者 藤田文博



ひだまり



春の訪れ、花々の饗宴

中庭と玄関を彩る「ひだまり」の風景

梅の香りが名残惜しく消えゆく3月の終わり、当院の中庭で1本の木が薄桃色の花を満開に咲かせていました。

「この花は何？ 梅に似ているけれど」と患者さん。それは梅でも桜でもなく、『あんずの木』でした。

「ああ、あんずか！ 昔はよく食べたなあ」と、懐かしい記憶を呼び起こされた様子。

まだ少し肌寒い春の空気の中、これが今年最初の花見でした。このあんずの花を皮切りに、続々と春の花たちが姿を見せ始めました。この季節、玄関前や中庭で患者さんと職員が一緒に花を愛でるのは、私たちの「風物詩」です。



玄関前では立派な桜を見上げ、舞い散る桜吹雪に「きれい！」と目を細めていました。中庭では桜以外にも、花桃やチューリップ、パンジー、水仙、ムスカリといった色とりどりの草花が足元を彩ります。「上も下も見なきやいかん。草の花もかわいいなあ」「酒の一杯でもやりたくなるね」と、色彩豊かな中でゆっくりと流れる時間を楽しまれていました。

患者さんと過ごすこのひとききは、私にとっても至福の楽しみです。来年の春、皆さんもこの景色を一緒に楽しみませんか？

作業療法士 中浜暢子



藤田院長 認知症介護指導者ネットワーク 全国研修会 in岡山で講演

この度、認知症介護指導者等（2カ月間の認知症介護専門職員養成研修を受講した方）を対象とした『全国研修会』において、当院の藤田院長が講師を務められました。

当日は、全国各地から指導者や現場で日々奮闘されている方々が集い、会場は熱気と期待に包まれていました。私も参加させていただきました。参加者の皆さんは、藤田院長による「わかりやすい認知症の医学的知識」をテーマとした講演に、真剣なまなざしで耳を傾けておられました。四大認知症それぞれの症状や特徴について、専門的な内容を身近な言葉で丁寧に語られる姿に、会場全体が引き込まれていくのを感じました。

研修会後には懇親会も開かれ、全国の仲間たちと語り合う貴重な時間となりました。それぞれの地域で認知症介護をより良いものにしたいという参加者の皆さんそれぞれの思いに触れ、大きな刺激と励ましをいただきました。学ぶことの尊さ、人とつながることの温かさを改めて実感した、心に残る有意義な一日となりました。

精神保健福祉士 加嶋 夏代

一步先の認知症ケアは 介護指導者 ネット 岡山で全国研修会



認知症介護に関する知識を深めた全国研修会

認知症介護指導者ネットワークの全国研修会が20日、岡山市内で始まりました。中国四国地方を中心に全国各地から集まった指導者や現場で働く人たち115人が21日、講演やパネルディスカッション、現場の課題に関する情報交換会などを行い、一歩進んだケアには何が必要か考える。初日のパネルディスカッションは「挑戦する心で未来を変える」をテーマに開催。職場だけでなく地域で活動する人材として一歩を踏み出すために、どうすべきかを討論した。

岡山ひだまりの里病院（岡山市南区北浦）の藤田文博院長による認知症の医学的解説もあった。（斎藤章朗）

倉敷市で地域の医療・介護に関わる人々を集め、認知症になっても安心して暮らせる地域にしようという勉強会やカフェを通じて仲間づくりをしている人々が経験談を発表。「不安や悩みを共有し、いつもの職種が関わることで自分ができることが分かる」「多くの人と出会い、得るものがたくさんある」などと語った。活動へのヒントが提供され、参加者はグループワークで実践法を話し合った。

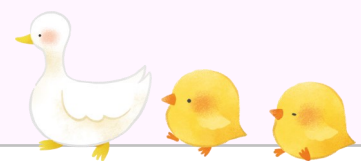
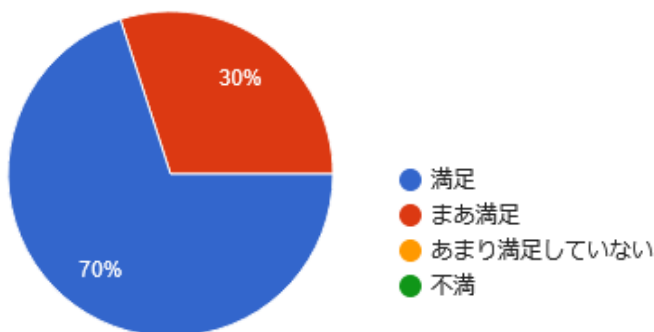
『全国研修会』の記事が山陽新聞に掲載されました

皆様の声が、私たちの未来を創ります

2025年度 入院満足度調査結果のご報告

当院では、より質の高い療養環境を目指し、入院中の患者様のご家族を対象とした満足度調査を実施いたしました。

全体にわたっての評価はいかがですか。



- 全体満足度 100%（「満足」「まあ満足」の合計）
- 事務・相談員の接遇、医師・看護師の対応に高い評価をいただきました。
- 特に「親切で安心できる」「質問しやすい」といったお声が、現場の大きな励みになっています。

今回の調査では、非常に高い満足度をいただいた一方で、病気についての説明の中に、ご家族を驚かせてしまう表現があったことに気付かされました。お一人おひとりを大切な家族として見守る視点を忘れず、透明性が高く、信頼される病院を目指してまいります。

また今回の調査は試験的にQRコードで実施しましたが、次回は『紙』での回答も併用いたします。皆様の声を一通でも多く伺いたいと考えておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

認知症の『あんな話・こんな話』

「アルコール」と「認知症」 その背景にある人生を支える



医師 本田 肇

認知症の診断や治療の相談に来られる方の中には、アルコールの問題を抱えているケースが少なくありません。いわゆる「アルコール性認知症（アルコール関連認知症）」には、長期の過剰なアルコール摂取、ビタミン欠乏や不摂生な食事からくる栄養障害、糖尿病や脳梗塞など体の病気の影響など、いくつかの原因が考えられます。またアルツハイマー型認知症などの認知症になったことで、飲酒のコントロールができなくなることもあります。

伴侶を亡くされた後、一人暮らしとなった男性がいました。徘徊が始まり、自宅での生活が難しいとのことで他の病院に入院。認知症と診断され退院後に、当院のデイケアの利用を希望され受診しました。飲酒を制限し、適切な食事をとることで体調は回復、物忘れなど認知機能障害も回復しました。その後、何度か深酒をしてしまい体調を崩すことがありました。「お酒」に代わって生活、あるいは心の隙間を埋めるものが見つからず、つい飲みすぎてしまうのです。

アルコールに関連する問題も認知症の症状も、検査や診断がただけでは適切な治療や手助けはできません。今の暮らしぶりやこれまでの人生など、その方の背景を知ることが必要です。



顔が見える医療を 33



医師 国吉 学

皆さま初めまして。4月より岡山ひだまりの里病院に赴任しました国吉 学と申します。2024年4月に林道倫精神科神経科病院へ入職し、この4月で精神科医としては3年目となりました。これまでは一般的な精神疾患や、アルコール依存症、児童思春期などについて携わってまいりました。認知症の方々に携わる機会が少なかったため、当院への赴任を機に、しっかりと見識を深めていく所存であります。

医師として認知症の方々に携わるということはご本人様だけでなく、ご家族様、あるいは介護なども含めた支援者様とも、しっかり関わっていくことが重要だと思っております。ご本人様の日常を支えるサポートチームの一員として、微力ながらもお役に立てるよう、尽力していく所存であります。まだまだ若輩者ではございますが、精一杯努めさせていただきます。

皆さま、何卒よろしくお願い申し上げます。



日々の看護に光を当てる「看護部事例発表会」

3月3日、恒例の「看護部事例発表会」を開催しました。各病棟から2事例ずつ、合計6事例が発表され、他部署からも多くの職員が駆けつける活気ある会となりました。

全ての事例が、当院の理念である「認知症の人がその人らしく生きることができるよう援助します」が根底にありました。「患者の立場に立つ」「患者の要求から出発する」といった視点から、患者とその家族を中心とした取り組み実践をしている発表でした。



<演題>

- ・超高齢者のADL維持について考える
～安全に白寿・百寿を迎えるために～ 2階病棟
- ・QOLの向上を目指した食事支援の実践
～最後まで口から食べることを支える～ 3階病棟
- ・家族の思いと本人の反応の解離から生じた夫婦同棟入院の課題
～認知症患者における関係性の変化と看護の役割～ 4階病棟
- ・環境の変化に弱い認知症患者への待つ看護の実践
～心を閉ざした患者が少しずつ心を開くまで～ 2階病棟
- ・Aさんの落ち着かない時の様子を観察して
～状況と対応の結果から見えてきたもの～ 3階病棟
- ・前頭側頭型認知症患者における骨伝導を用いた音楽ケアの試み
～嗜好情報の活用が発語および情動表出に与える影響～ 4階病棟

日々の看護・ケアをいつもそういった視点で行われていることが確認でき、とても嬉しく思いました。また、最新の「生成AI」をデータ分析に活用した事例もあり、技術の進歩も感じられました。

今後も日々のケアを見つめ直し、より質の高い看護を目指してまいります。

看護部長 國分 祐子



📢 ホームページが新しくなりました。



当院の治療とケア、サポートの内容を充実化させました！



ホームページの閲覧はこちら



インスタも始めました！



ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

☎ 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <https://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/>

《外来》

診療日時：月曜～金曜
9:00～12:30

*予約制です。まずは
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

実施時間：月曜～土曜
9:30～15:30

(日曜・年末年始はお休み)

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。
医療費でお困りの方はご相談ください。
入院中の差額ベッド料はいただいております。